

# 間伐材をつかってそりづくり



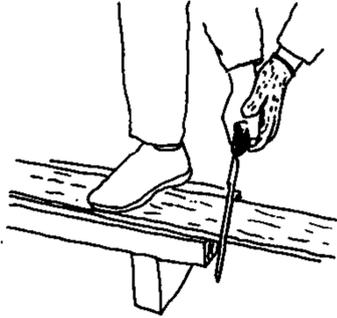
活動場所	そりづくり 実習棟 そりあそび 自然の家周辺	自然の家に あるもの	薪、杉板大、作業台、のこぎり、耐火レンガ、 皮手袋、さしがね、えんぴつ、ロープ、ロウ
所要時間	そりづくり 1. 5時間 そりあそび 1. 5時間	利用者で 用意するもの	軍手（ゴムの滑り止めがないもの）
人数	100人程度	活動時の服装	そりづくり 長袖、長ズボン（綿素材のもの） そりあそび 帽子、スキー用手袋、 スキーウェア

間伐材の杉板を自分たちで起こした火の熱で曲げたり、また、やすりでみがいたりしてそりをつくり、実際にそり遊びをする活動です。

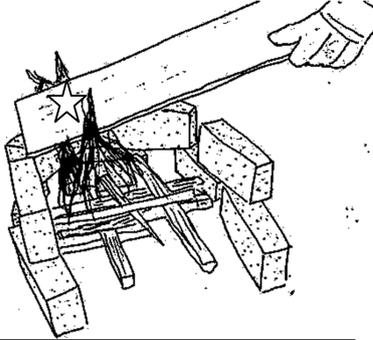
この活動では雪と親しむことはもちろんのこと、自分で遊び道具であるそりを一からつくり、その過程で間伐材の利用、木材加工などについて学びます。

また、自分でつくったそりの角度を調整したり、ロウをぬったりして工夫しながら雪遊びを楽しむことができます。

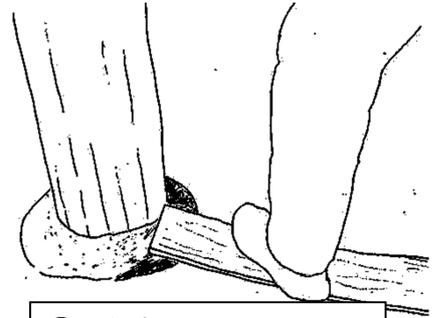
## 間伐材をつかってそりづくり



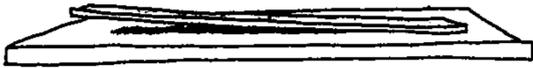
①水でぬらしておいた杉板をのこぎりで 60cm に切ります。



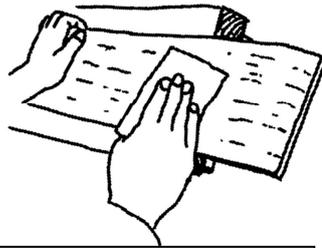
②杉板の☆のあたりをあたためます。両面あたためます。



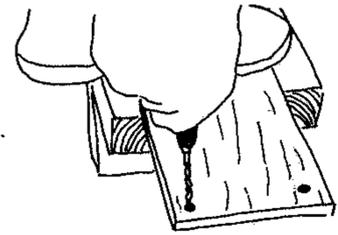
③そらす面をきめ、柱のだんを使って足でふみ、そらしていきます。



④↑このくらいに杉板がそるまで②と③をくりかえします。



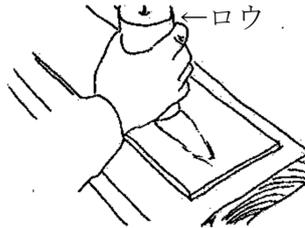
⑤雪につく面をやすりでみがきます。



⑥杉板のそらした方にドリルで穴を2か所あけます。



⑦あなにロープを通して、ぬけないようにむすびます。



⑧雪につく面にロウをぬって、すべりやすくします。



⑨かんせいしたら、雪のしゃめんですべってみましょう！

### とくに大切なこと

<そりをつくる時>

- ①長いすは、2人で運ぶようにしましょう。
- ②杉板を熱する時は、皮手ぶくろをつけましょう。
- ③板を曲げる時は、火のそばからはなれましょう。

<すべる時>

- ①そりをするときは安全のため、ぼうしと手ぶくろをつけます。
- ②すべるときはひもを持って、周りに気をつけて安全にすべりましょう。

## 1. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
・杉板やのこぎりの特徴について知り、安全で適切な扱い方について身につけることができる。	図画工作	4年「使ってみよう ざいりょうと用具」
・雪上でそりに乗り、バランスをとる動きや体を移動する動きをすることができる。	体育	「体づくり運動」

## 2. ポイント

### ア) 活動前

- ・間伐材は杉板大（約200cm）を使用し、1人分の長さを60cmにすれば3人分とれる。
- ・加工する際の薪は班で1束あれば十分である。
- ・そりをする時には、防水性のある手袋と帽子を必ず準備をしておくこと。

### イ) 活動中

- ・班員全員が杉板を切り終えてから薪に火をつけるように指導する。
- ・杉板をあたためる時は必ず皮手袋をつけさせること。
- ・左頁図③の杉板に圧力をかける時は、火の近くでは行わないよう指導する。
- ・やすりがけは杉板の両面ではなく、すべる面だけでよい。
- ・左頁図⑦の杉板につけるひもの結び目は大きいと抵抗ができてしまうので、できるだけ小さい方がよい。
- ・滑る時は、足でブレーキをかけるよう指導すること。
- ・そりですべる坂を登る時は、坂の端を通るよう指導すること。

### ウ) 活動後

- ・濡れたスキーウェアや手袋、帽子などは乾燥室で乾かすことができる。水が滴るようであれば、乾燥予防も兼ねて部屋干しも可能（ハンガーは乾燥室に約100本在庫有り）。
- ・使用したそりは乾燥室で乾かし、持ち帰ること。

## 3. 安全対策について

--